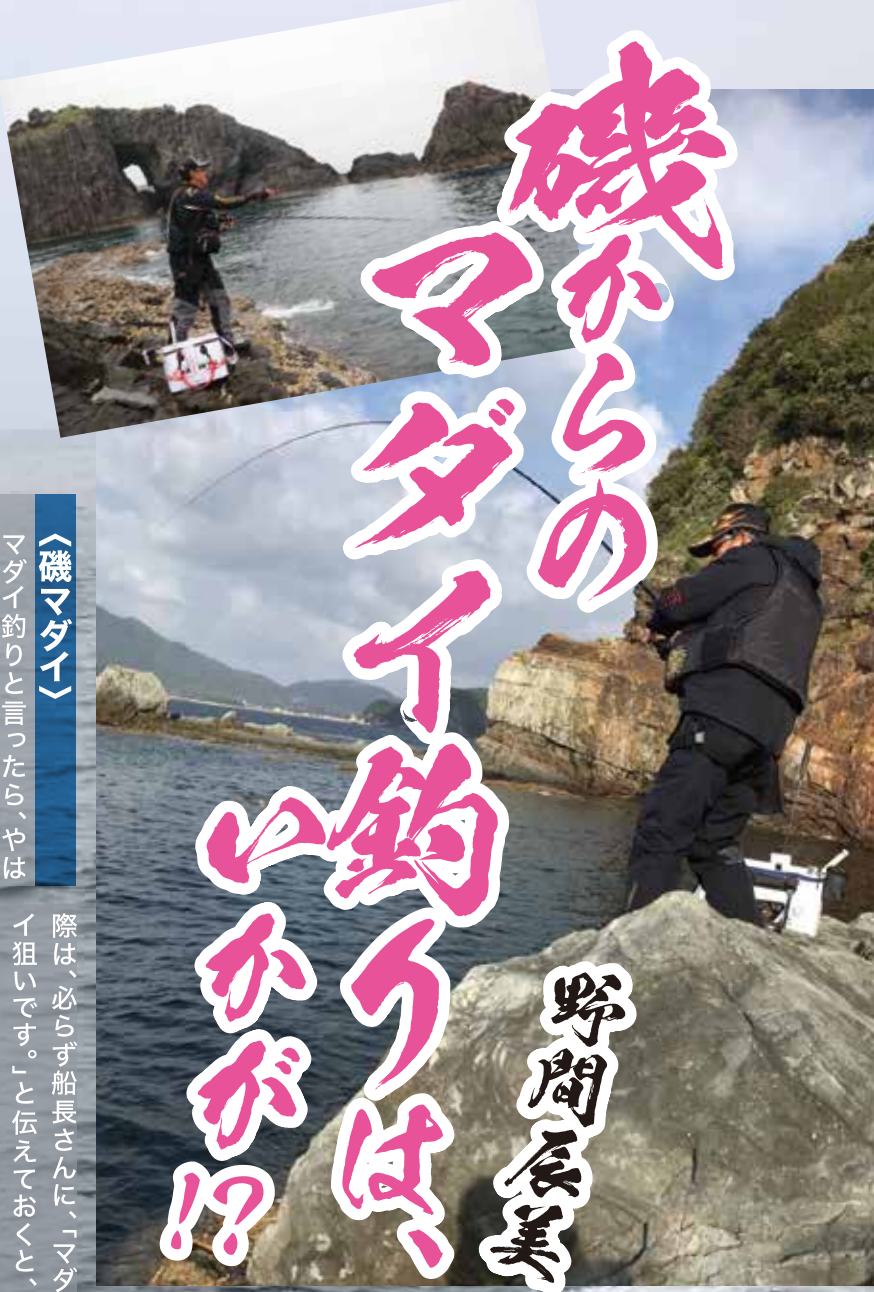




毎年、春は、マダイをメインに、運が良ければイサキ・クロが釣れたらいいなぐらいの感覚で、よく釣りに出かけますが、今年は、自粛モードで、行きたい所に行けず、また、日曜のたびに時化(シケ)だったり好きなマダイ釣りができません。ただまだチャンスは、あります。磯のマダイは、産卵をはさんで、梅雨時期まで釣れるので、私なりの見解ですが、磯マダイ釣りを考えてみようと思います。

《磯マダイ》

マダイ釣りと言ったら、やはり船釣りが型・数ともに確率は良いです。でも私のように船に弱い人は、磯からのフカセ釣りでねらってみると、けっこう、奥が深くてむずかしくて楽しいです。型・数は、船釣りには、かないませんが、試行錯誤して価値ある一匹を、ゲットしてみませんか？そして、マダイは波静かな湾内から荒々しい外海の磯まで、どこでも釣れると思います。個人的には、潮がはける場所(沖に出る潮)からの釣りが好きです。瀬渡し船を利用する

《坊津・大鯨》

5月上旬、鹿児島県の南薩・坊津の侍丸さんで、マダイ狙いに出掛けて来ました。当日の潮はのぼりの中潮(※)で満潮が、朝の5時30分頃で、干潮が昼前の11時30分頃なので午前中が下げ潮で、昼から回収の14時過ぎまで、上げ潮を釣ります。(※のぼりの中潮＝大潮前の中潮)あらかじめ船長さんに「マダ

イ狙いです。」とお願いしていたので、降りた磯は、坊津の灯台下の「大鯨(オオザメ)」という磯で、普段は、潮切れのいい磯なのですが、まず潮場図を見てもらえば解る通り、最初は、A点で釣りスタートです。

《マキエサ》

朝7時釣りスタート。今回用意したマキエサは、オキアミ生3kgを2角と、ジャンボアミー角。それと、マルキューの新製品『スーパー磯マダイⅡ』と『磯マダイホワイトⅡ』を各一袋ずつを準備します。

『スーパー磯マダイⅡ』は、集魚効果と遠投力が抜群でしっかりまとまって沖を狙え、深ダナを直撃します。『磯マダイホワイトⅡ』は、白い煙幕で、視認性抜群で、先打ちでマキエサを打つた所が一目で解る。さらに、深ダナを狙える重さで、マダイにアピールをする白いにがりが、効果的です。これらを2回に分けて作ります。正直言って、今回で使うのは、3回目ですが、遠投もしやす



マルキューの新製品『スーパー磯マダイⅡ』と『磯マダイホワイトⅡ』。マダイは春～初夏の産卵期に接岸し、その後も梅雨～晩秋にかけて、少し水深(10～15mなど)のある磯～堤防、岸壁周辺などをよく回遊します。マダイ専門のマキエサが新登場し、これからも長く好狙いでき楽しみです。

くて集魚効果もあります。ひしやく離れもよくて、まとまりがよいです。クロやオナガも。充分釣れます。クロ用よりはやや重く、チヌ用よりは少し軽い感じ。ただ、量的にどちらも3kg入りなので、最初、手にとった時に重いと感じると思いますが、比重はまったくそんなことはありません。大変気に入ってます。

《実釣》

仕掛けは、図を参照して下さい。まずは、ウキ下4ヒロでスタートします。まず、見やすい所に、マキエサを入れて、エサ盗りや潮流を確認します。

マキエサを入れても、エサ盗り等の魚は確認できません。ま



釣研の「ディスペイド」は、Distance(距離)、Speed(速度・手返し)、Tide(潮流)という3つのコンセプトワードから名付けられました。精密な浮力設定に、浮力別糸穴設計でG3から1号までの浮力はシモリ玉不要でウキ止めが止まるφ2.5→0.7mmのアンダーロック構造を採用。釣研FGのWFG世界大会で、野間さんと対戦したこともある、徳島の森井さんによる開発です。当日は3Bを主に使用しました。

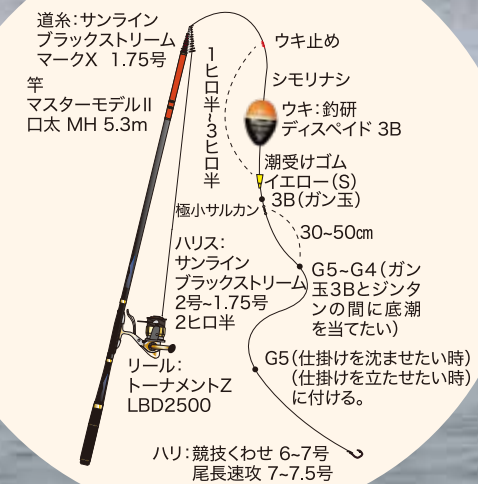


沖、右沖、正面に超遠投をして潮流がある所をさがします。さらにそのつど、マキエサを10杯程入れて、遠くの魚にもマキエサをアピールします。そし



ヒシヤク離れもよく、遠投性能も優れています

当日の仕掛け例



本来なら下げ潮は、小鯨の沖を通る下げ本流に引かれる潮に乗せて、小鯨の沖で喰わせる予定だったが、当日は、引かれ潮がなく、手前にゆっくり押して来る潮だった。上げ潮は、弱く上層だけが流れ、底潮はほとんど動いてない感じで、仕掛けを巻き上げる時に軽かった。